

「弥生の空」がノミネート！

第1回の【推薦曲】(「真実の歌PART-2～傘じゃない～」)受賞に続き、第2回全国創作センターの選考で「弥生の空」(田中正浩／作詞・作曲)が【準推薦曲】に選ばれました。「季刊日本のうたごえ」には「あなたのえがお」も【印象的であった曲】として取り上げられました。



▲前回19年のオリジナルC



▲「bye-bye原発」福井のうたごえ

**第2回
全国創作センター
推薦曲 選考結果**

全国で生まれている創作曲を蒐集し、年に一度、選考会議を持ち、推薦曲を紹介していく(全国創作センター)2010年7月発足の第2回選考会の結果をセンター事務局長・全国協議会の渡辺孝則さんより。

今回は、2020年8月より2022年5月までの全国創作センターに寄せられた曲、全47曲の中から、全国のみなさんに紹介したい推薦曲を以下のよう

【選考結果】

【推薦曲】

世界で一番大切なもの(歌田あかりが町コノサート
合唱団/原詩 山本竹志/作詞 たかたけ
ゆうじ/作曲 松本嘉治/編曲
いのちの木(村上天美子/作詞 服部安久/作曲
「こ」にいうよ、私たちのエール」(うたごえ新聞
「連歌をしよう」から作詞 石黒真知子/発句
きくろいすみ/編曲 たかたけゆうじ/作曲
「うたごえ」原発(松永朝恵/作詞 斎藤清二/作曲
星となれ ボクのうた」(竹中正浩/作詞、
藤村記一郎/作曲)

【激励曲】

マフク屋さん(町澤恵/作詞 五十嵐典子/作曲
「考えてみてさくらん生まれるって素晴らしいね」
(石川博司/作詞 高野和夫/作曲)

選考委員は、作曲家武義和、名古屋青年合唱団指揮者・名古屋一朗合唱団指揮者・名古屋合唱団・レガテ指揮者・山本嘉治、創作センター事務局長・長崎合唱団指揮者渡辺孝則(敬称略)。

選考は、4人の選考委員が各自、推薦曲を5曲、準推薦曲を10曲挙げ、協議の結果、全国推薦曲5曲、激励曲2曲、準推薦曲8曲を決定しました。推薦曲は、特典として、希望により武義和さんが伴奏編曲等を施して、季刊「日本のうたごえ」に掲載。ここにあげられた曲は、ぜひ全国で歌われることを願って推薦されました。併せて、全国から裾野の広い作品が寄せられ、合計38曲がノミネートされたことも報告致します。

(推薦曲、登録順)

創作センターの登録にあたっては作られた年月は問わずに登録を勧めています。

【準推薦曲】

「風に吹かれて」(高島賢/作詞・曲
「風」一緒に」(三浦節子/作詞・曲、
「自然体の人」(第85回通信のうたごえ祭典・堀玉
創作チーム/作詞、たかたけゆうじ/作曲)

「弥生の空」(田中正浩/作詞・曲)

幸せになる」(竹岡敏雄/作詞 長森かおる/作曲
「この街から」(谷口桂子/作詞、若小牧うたごえ
サークルわたぼうし/補作詞 高島賢/補作
詞 作曲 佐藤幸恵/伴奏編曲
「冒険者たち」(川村ミチル/作詞、
藤村記一郎/作曲)

「夢見るものために」(小森善子/作詞、
大西進 作曲)

作品を対象します。併せて、ぜひ全国創作センター対象期間に登録された過去の作品でも、今日的に優れた作品があればその紹介方法について検討していきます。良い作品全国に紹介することにより、さらに、より良い創作曲が生まれ、歌われることを確信します。

3、☐ info@utago.jp

「うたごえ新聞」2021/11/22

【推薦曲】

- 「世界で一番大切なもの」(吹田おらが町コンサート合唱団／原詩 山ノ木竹志／作詞、たかだりゆうじ／作曲、松本憲治／編曲)

- 「いのちの水」(村上久美子／作詩、服部安宏／作曲)

- 「ここにいますよ 私たちのエール」(うたごえ新聞「連歌をしよう」から作詞、石黒真知子／発句、きむらいずみ／編曲、たかだりゆうじ／作曲)

- 「bye, bye 原発」(松永朝恵／作詞 斉藤清己／作曲)

- 「星となれ ボクらのうたよ」(竹中正道／作詞、藤村記一郎／作曲)

【激励曲】

- 「マスク屋さん」(町澤恵／作詞、五十嵐典子／作曲)

- 「考えてみてごらん 生まれるって素晴らしいね」(石川博司／作詞、高野和夫／作曲)

【準推薦曲】

- 「風に吹かれて」(高島賢／作詞・曲)

- 「風と一緒に」(三浦節子／作詞・曲、藤村記一郎／補作・編曲)

- 「自然体の人」(第65回電通のうたごえ祭典in埼玉創作チーム／作詞、たかだりゆうじ／作曲)

- 「弥生の空」(田中正浩／作詞・曲)

- 「幸せになる」(竹岡敏雄／作詞、長森かおる／作曲)

- 「この街から」(谷口桂子／作詞、苦小牧うたごえサークルわたぼうし／補作、高島賢／補作詞・作曲、佐藤幸恵／伴奏編曲)

- 「冒険者たち」(川村ミチル／作詞、藤村記一郎／作曲)

- 「愛するもののために」(小森香子／作詞、大西進／作曲)

感じる。

【印象的であった曲】

- ・「おもひえ」(中島祥子／作詞・作曲)

- ・「キンメダイとサンマの恋」(石塚さえ／作詞 高島賢／作曲)

- ・「紫陽花色のバス走るまちで」(日進市年金者の会の歌) (水野妙子・光本基江／作詞 藤村記一郎／作曲)

- ・「集まれば元氣」(林まなみ原詩／愛知教職員合唱団きぼう／作詞 藤村記一郎／作曲)

- ・「生かされる命」(伊藤彦明／作詞 服部安弘／作曲)

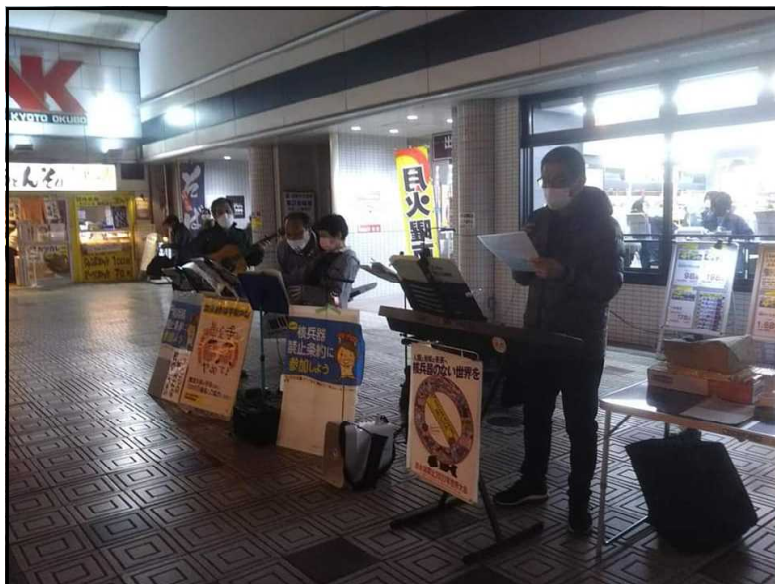
- ・「あなたのえがお」(畑 優子／作詞 田中正浩／作曲)

※他各選考委員コメント 次号

平和アピール宣伝

宇治久世教職員組合毎月恒例の駅頭での平和アピール宣伝が11月16日(火)近鉄大久保駅前で行われ、グッデイメンバー5人が参加しました。

今回はスピーチ、歌だけでなく、ビラ配布、署名にも取り組みました。





宇城久のコロナ感染3週間で1人

「京都新聞」によれば京都府でこの3週間(11月13日～12月3日)に新型コロナウイルスに新規感染した人の合計は56人(1日平均2.8人)いましたが、宇治市・城陽市・久御山町に限ると、昨日判明した宇治市の1人だけでした。宇治市では11月5日以来約1ヶ月ぶりの感染者です。なお、城陽市では11月12日以来、また久御山町では10月8日以来感染者が出ていません。

新しい変異種「オミクロン株」は不気味な存在ですが、少なくとも今のところそんなにビクビクする必要はなさそうな状況です。このままなら12月25日は予定通り、「大歌う会」を行いたいと思います。(詳しくは今日の例会で。)

